

**公共工事における総合評価方式活用検討委員会
マネジメント部会（第1回）
議事要旨**

1. 日 時： 平成19年6月20日（水）18：15～20：30
2. 場 所： （財）国土技術研究センター 7F 第3会議室
3. 出席者： 溝口宏樹部会長、笹森秀樹委員、田中良彰委員、西川友幸委員、
澤永好章委員、尾崎雄三事業監理官（松原裕委員代理）
アドバイザー： 小澤一雅教授、加藤佳孝准教授

4. 議事概要

（1）総合評価方式の運用に係る問題認識について

- 工事特性に応じて本質的な課題が設定されているか、技術提案の評価が適切になされているかという観点から検討を行う。
- 総合評価方式の3つのタイプの使い分けが適切になされていないケースがあるのではないか。特に、簡易型と標準型の使い分けについて整理が必要である。
- 各作業部会では、工事に求めるものによって標準型と簡易型を使い分けるという哲学に基づき検討を行う。
- 加算方式と除算方式の使い分けや体系の見直し等、総合評価方式の全体の枠組みに関する課題については、マネジメント部会から委員会に論点を提示することとする。

（2）手続の効率化について

- 手続の効率化については引き続きマネジメント部会で議論する。
- 事後審査方式等によりどの程度事務量が効率化されるのか整理する必要がある。

（3）作業スケジュールについて

- 今年度末にはとりまとめを行えるように作業を進める。また、各作業部会の進捗に応じて、適宜マネジメント部会を開催する等、必要に応じて作業スケジュールを見直す。

（4）その他

- 各作業部会においても必要に応じてアドバイザーに参加をお願いする。
- マネジメント部会においては、具体事例の評価結果等をもとに評価方法のあり方等について議論することとなるため、会議は非公開とする。なお、議事要旨及び公表が可能な資料は公表する。

以上